

特集／大阪狭山の未来

水野

Yoshimi
MIZUNO

Kiyoshi
MIZUNO

良美 清志

(yon)

(KIYO)

小学生フォトグラファー

“インスタ映え”と

誰もがスマホで簡単に写真を撮影できる今
幼いながら本格的な機材を使いこなし
地域の魅力を発信する
小学生フォトグラファー兄妹
水野清志さん(6年生)と
水野良美さん(4年生)を紹介します。



兄妹ふたりがともに楽しみながら撮影に挑んでいる一つが、狭山池まつり。池の堤に並べられた幻想的な灯火やまつりの賑わいを、自身も来場者として満喫しながらカメラに収めています。2016年からはじまった「絵はがき写真コンテスト」では、清志君は2年連続で準グランプリ、2018年にはグランプリを獲得。良美ちゃんも同じく3年連続で入賞、コンテストの最年少記録を打ち立てました。2016年の清志君のコンテスト作品は、富田林市で「菓子工房 yamao」を営む山尾純一氏の心に強く感銘を与え、山尾氏は自身の工房の菓子職人を1年間ドキュメンタリーで追って撮影してくれないかと依頼。お父さんがアシスタントを務めながら清志



狭山池まつり絵はがき写真コンテスト
グランプリの作品 2018年(KIYO)



ラバーダックと狭山池 2016年 (KIYO)



表現倶楽部うどい
10周年記念公演 2016年
(KIYO)

兄の清志君は、幼い頃からお父さんの剛志さんが撮影している様子に興味を持ちはじめ、コンパクトデジタルカメラで撮影をしていましたが、5歳の時にお父さんのお下がりの「デジイチ」デジタル一眼レフカメラでの撮影をはじめました。小さい身体に大きなカメラ、カメラを手にした清志君は近くの花や樹木、お気に入りの人形などシャッターを切ります。ある日、清志君が撮影した桜の木を下から眺めたアングルの写真を見たお父さんは「これは！」と思いき、知

人のプロカメラマンに見てもらいます。清志君の写真はプロのテクニックである三分割法が取り入れられていて、プロからも「才能あり！」と太鼓判をもらいました。誰から教えられたわけではなく、自然と三分割法で風景を切り取っていたのです。清志君のすごいところはそれだけでなく、持ち合わせた独自の着眼点でのフレームワークは秀逸で、撮影した写真のほとんどがトリミング加工なしの一発決め。その作品からは、余白の美まで感じられます。



狭山池イルミネーション
写真集「photography to commune」掲載作品(KIYO)

君は工房に通い、細やかな作業に真剣な眼差しを取り組む職人たちの一瞬一瞬の姿を収めました。この一連のモノクロ写真は、「ボクがみた菓子職人たち」という名で展示され、藤沢台の本店25周年と大阪市の船場店オープンに華を添えました。



菓子工房yamao コラボ写真展「ボクがみた菓子職人たち」より 2017・2018年 (KIYO)

そんなお兄ちゃんの後ろ姿を見てきた良美ちゃんは「私も！」と6歳の頃にカメラを手にし、お兄ちゃんに負けじと撮影を始めます。良美ちゃんは白黒はつきりした性格で、お父さんやお兄ちゃんが撮影に出かけると行っても興味が無ければ付いていきません。良美ちゃんが撮影するのは、やはり女の子の感性でしょう。お花やキラキラしたイルミネーションに、大好きな猫。被写体に捉えるのは直感的に良いと感じたもの。特に猫の写真はお気に入りなようで、猫カフェに撮影に行った際の様子をとっても楽しそうに話してくれたのが印象的でした。そんな良美ちゃんの猫作品は、猫が勇



スイセン 2018年(yon)

この春で小学校を卒業し、中学に進学する清志君。小学生フォトグラファーとしてのユニットは解散となります。今までは撮ることを中心にしてきましたが、中学生になったらカメラのメンテナンスや、パソコンでのデータ処理、撮影プランを練るなど付随する技術も身につけていきたいとのこと。物静かでコツコツタイプの清志君、これまで以上に技を磨き目指すは写真甲子園！

写真だけでなくダンスや語学など色んな事に興味を持ちチャレンジする良美ちゃんは読書も大好き。年間100冊以上を読破、それも挿絵のない小説が好きと言うからすごい。想像そして創造力に長けている良美ちゃんは今春、奥河内地域でクランクイン予定の長編映画「鬼ガール!! (仮称)」のオーディションに参加、出演を目指し頑張っています。将来の夢は「すべての暮らしのデザイナー」なんだとか。マルチな表現力を持ち合う良美ちゃんならではの！

ふたりの活躍を一番近くで支える父剛志さんは「ふたりとも常に新しい感覚で撮影している、その感性を大事に見守ってほしい」と熱たっぷりに話してくれました。これからの成長がますます楽しみです。なふたりです。②



猫カフェの猫ちゃん 2017年 (yon)

これまでの展覧会

- 2014年 親子が撮る「心を通わせる写真撮影」
- 2016年 KIYO & yon 「彼らのファインダーで切り取る世界」
- 2017年 菓子工房yamao写真展「ボクがみた菓子職人たち」(藤沢台本店)
- 2018年 菓子工房yamao写真展「ボクがみた菓子職人たち」(大阪船場店)

写真集

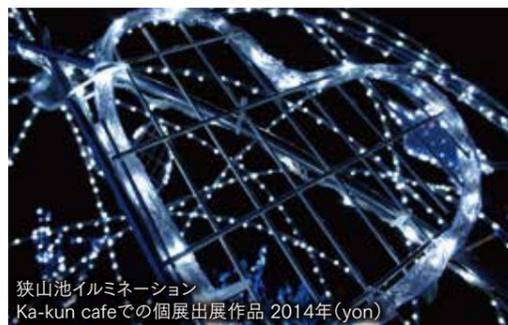
「photography to commune 小学生フォトグラファー写真集」2,500円(税込)
キャン・フォトブックサービスのウェブサイト「PHOTOPRESSO」より購入可
<https://wpb.imagegateway.net/gallery/book/5375274468>



山本正義氏と良美ちゃん



山尾純一氏と清志くん



狭山池イルミネーション
Ka-kun cafeでの個展展覧作品 2014年(yon)



狭山池まつり絵はがき写真コンテスト
特別賞受賞作品「ラバーダックのおうち」(yon)

